

令和5年度第2回越谷市生涯学習審議会会議録

1. 期 日 令和5年(2023年)11月6日(月)
2. 会 場 中央市民会館4階 第16～18会議室
3. 開 閉 会 開会 午後2時00分  
閉会 午後4時00分
4. 出席委員 30名  
長岡委員、会田委員、宮園委員、山口委員、宮崎委員、戸張委員、杉山委員、島村委員、大野委員、佐々木(京)委員、中村(良)委員、石塚委員、石橋委員、西村委員、飯島委員、中村(英)委員、小林(修)委員、星野委員、小林(昌)委員、夏目委員、佐々木(清)委員、片野委員、北畠委員、青山委員、織田委員、計良委員、小林(威)委員、住田委員、真壁委員、吉川委員
5. 欠席委員 2名  
大山委員、小林(大)委員
6. 事務局出席者  
小泉教育総務部長、木村生涯学習課長、  
福井 桜井公民館長、中村(則)新方公民館長、前田 増林公民館長、  
綿引 大袋公民館長、谷口 荻島公民館長、中村(清)出羽公民館長、  
新井 蒲生公民館長、名倉 川柳公民館長、飯田 大相模公民館長、  
戸張 大沢公民館長、山納 越ヶ谷公民館長、内田 南越谷公民館長、  
平林 北越谷公民館長、  
生涯学習課：北郷副課長、堤主幹(統括)、野中主幹、新井主査、加藤主任

会 議 次 第

1	開 会
2	あいさつ
3	報告事項 (1) 令和6年度越谷市社会教育関係団体への補助金交付について (2) 令和5年度事業について
4	協議事項 (1) 令和6年度越谷市教育行政重点施策の重点事業(案)について
5	そ の 他
6	閉 会

## 会議内容

1 開 会 北郷副課長（司会）

2 あいさつ 青山会長  
小泉教育総務部長

### 3 報告事項

#### （1）令和6年度越谷市社会教育関係団体への補助金交付について

○議 長 事務局に説明を求める。

○事務局 資料に基づき説明する。令和5年度補助実績額について、補助金の対象事業として計画されていた事業が中止となった場合は、今後、精算の可能性のあることを説明する。各予定補助金額については、令和5年度実績額を基本として要求したいと考えているが、各団体の令和6年度事業計画及び要望額を踏まえて内容を精査し、全庁的な予算編成方針に従い、財政担当課との調整のうえで越谷市社会教育関係団体補助金等交付要綱に基づき決定することを説明する。

○議 長 委員に質疑等を求める。  
※委員からの質疑等なし

#### （2）令和5年度事業について

##### ①社会教育について

###### ア 越谷市人権教育推進協議会

○議 長 事務局に説明を求める。

○事務局 資料に基づき説明する。

（ウ）第32回「埼葛人権を考えるつどい」については、今年度は6年ぶりの越谷市での開催となり、市内の小・中・高等学校や各種団体にご協力いただき、参加者数は約5,000人と、大盛況のうちに終了することができた。参加者の皆様が人権をより身近な問題として受け止め、人権について考える一日になったものと捉え、今後も引き続き人権教育・啓発活動を行っていききたい。

○議 長 委員に意見等を求める。

特に、第32回「埼葛人権を考えるつどい」に参加された委員がいたら、感想等をお聞きしたい。

○委 員 参加したが、非常に多くの人で賑わっていた。子どもたちも職員の皆さんも準備や当日の運営等大変だったと思う。

○委 員 駅から会場への道に置いてあったプランターがとてもよかった。開会式は長かったように思う。子どもたちも多くにぎやかで、とても楽しめた。人権の問題に今後も取り組んで、優しい越谷市にしたい。

##### ②公民館について

###### ア 公民館主催事業

各公民館長から、資料1及び公民館主催事業開催要項等に基づき、令和5年度の特徴ある事業について説明する。

※資料を訂正する

訂正箇所：資料1の表紙（各公民館のページ数）

【誤】新方公民館 p3 ～ 北越谷公民館 p25

【正】新方公民館 p2 ～ 北越谷公民館 p13

（主な質疑）

- 委員 大相模公民館のセイタカアワダチソウを用いた草木染め事業について、触った子どもたちに異常はなかったか。喘息の原因となる草であり、花が咲く前に刈って処分をするような怖い雑草である。
- 事務局 子どもたちに異常はなかった。今後は講師とよく相談して草の選定をしたい。
- 委員 北越谷公民館の「こめづくり体験教室」は非常によい企画であると思う。越谷市は旧街道沿いの宿場町と農村部が上手に交わってよい町を作ってきた。それを彷彿とさせる農村部との関わりがとても大切だと思う。他の公民館でもこのように交流のできる事業を行うとよいのではないか。また、新方公民館の「無形民俗文化財継承講座」や、荻島公民館の「おぎしま探検講座」も、地域の特色を生かしたよい講座である。特色を見つけるのが難しい地域もあると思うが、久伊豆神社には各地域のお祭りの伝統等が記載された資料があるため、必要があれば情報提供できる。ぜひ協力していきたい。
- 議長 北越谷公民館の「こめづくり体験教室」は、北越谷小学校の児童が参加して平日の日中に行われているが、学校の授業として行われているのか。公民館事業であり、学校の授業の一環でもある事業なのか。
- 事務局 5年生の授業の一環となっており、2時間分として実施している。
- 議長 学校と公民館が連携してこのような取り組みができることは強みである。授業そのものを公民館で実施しているというのは珍しいと感じた。
- 委員 8月から越谷市デジタルアーカイブが公開され、昔の写真や資料などを見られるようになった。地域の歴史や特色等を調べるために、各公民館で利用したらよいのではないか。

## イ 生涯学習課との連携事業

二十歳のつどいについては、例年どおり地区の皆様にご協力いただきながら、市内11会場において式典と催し物を実施する予定である。現在、各地区において実行委員会が開催され、当日に向けた協議、準備を進めている。

人権教育推進事業の家庭内人権教育事業、公民館における人権教育推進事業、人権教育指導研修事業については、地区により予定時期が異なるが、随時実施している。また、本日「地区センター・公民館だより」を入れてお配りしたクリアファイルは、人権教育の啓発品であり、講座開催時にこのような啓発品を講座の参加者に配付して、人権に係る啓発を図っている。

### ③家庭教育について

#### ア 家庭教育事業

小学校子育て講座は、例年、各小学校の就学時健康診断日に新入学児童の保護者を対象として、子どもが健診を受けている間の待ち時間を利用して講義形式で講座を開催している。今年度は各学校の判断により、22校において講義形式で実施し、講義形式での実施が難しいとされた7校においては、家庭教育に関する資料を配付し、小学校入学を控えた子どもを持つ保護者にとって一助となるよう取り組んだ。講義形式の場合、参加した保護者同士が意見交換して打ち解け、今後子どもが同じ学校に通う保護者同士のつながりができる場としても有意義な機会となるよう、多くの講座でグループワークを実施しており、実施にあたっては、学校及び講師と内容や実施方法について詳細な打合せを行っている。また、資料配付については、講義形式での実施の有無に関わらず、全校で配付した。当日配付資料として同じものを配付しているのをご参照いただきたい。資料は、例年、講座の講師を務めていただいている埼玉県家庭教育アドバイザーにご協力いただき、令和3年度に作成した。定期的に内容を見直すこととしており、次回は令和6年度に更新する予定である。

中学校子育て講座は、講義形式での講座を実施予定であるが、学校と調整しながら進めていく。

例年、私立幼稚園協会との共催で開催している子育てフォーラムは、本日の午前中に開催された。育児不安や子育ての悩みを持つ保護者の一助となるよう、子育て支援の一環として開催している。

### ④その他生涯学習の推進について

#### ア 育成事業

生涯学習リーダー養成講座実践編は資料のとおり実施した。

また、生涯学習ボランティア養成講座入門編は資料のとおり実施予定である。本事業は、講座で学んだ内容を実践する場として、例年、生涯学習フェスティバルにおいてボランティアの体験を案内し、希望者に参加いただいている。実際に体験いただくことで知識の定着を図っている。

#### イ 市民及び大学等との事業

こしがや市民大学は、8月2日(水)に第1回特別講座を実施した。詳細は「こしがや市民大学第1回特別講座パンフレット」をご参照いただく。

10月24日(火)から第1期講座がスタートし、全6回を実施予定としている。詳細は「こしがや市民大学第1期講座パンフレット」をご参照いただく。なお、第2回特別講座は2月25日(日)に生涯学習フェスティバルと同日開催の予定、第2期講座は2月3日(土)から全6回の実施予定としている。第1期講座は平日開催、第2期講座及び第2回特別講座は土日開催としており、幅広い方にご参加いた

だけよう企画している。

生涯学習フェスティバルについては、2月25日（日）に実施することとして、市民組織である越谷市生涯学習推進会との会議において協議し、準備を進めている。令和4年度は規模を縮小して実施したが、今年度は例年どおり中央市民会館を全館使用して、参加者の学びのきっかけとなるような各種体験コーナーを企画している。

## ⑤ 文化振興事業について

### ア 芸術文化活動の推進

県展記念作品展については、資料のとおり開催した。なお、感染防止対策として、飲食を伴う出品者交流会は中止した。

市民文化祭については、開催に向けて準備を進めている。詳細は、「越谷市市民文化祭チラシ」を参照いただく。4年ぶりに工芸体験コーナーのブースを設ける予定としている。

美術展覧会については、資料に記載の期間での開催に向けて現在準備を進めている。出品者交流会を4年ぶりに予定している。

文化総合誌「川のあるまちー越谷文化」の発行については、今回で第42号となるが、予定どおり発行に向けて事務を進めている。今回の発行から、販売委託先のさらなる拡大を目指し、冊子へのバーコード表示を導入する。また、引き続き、冊子販売委託先の増加に向けた調査等を行う。

### イ 特色ある地域文化の振興および普及

能楽体験事業については、会議資料に記載の期間で開催しており、初回は能楽へ興味を持っていただくために体験教室として開催し、28名の方に参加いただいた。11月16日からは、チラシに記載のとおり、連続講座として謡曲及び仕舞の2コースで計27人の方の参加を予定しており、両コースそれぞれ2月まで計7回の講座に参加いただく。

郷土芸能体験教室については、資料のとおり開催した。参加者はバチで和太鼓をたたき、実際に郷土芸能を体験学習した。

こしがや薪能及びこしがや能楽の会については、資料のとおり開催した。

郷土芸能祭については、資料のとおり開催を予定している。

○議 長 委員に意見等を求める。

※委員からの意見等なし

## 4 協議事項

### (1) 令和6年度越谷市教育行政重点施策の重点事業（案）について

○議 長 事務局に説明を求める。

○事務局 教育行政重点施策について、「令和5年度越谷市教育行政重点施策」を用いて改めて説明する。4、5ページになるが、本市の教育分野における最上位計画として、「第3期越谷市教育振興基本計画」を策定

し、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間としている。本計画では、第2期計画に引き続き、生涯にわたり学んだ成果を地域社会に還元できるような「循環型生涯学習社会」の実現をめざし、教育施策全般について、学校教育・生涯学習・生涯スポーツの3つの分野から、「基本目標」を3つ、「施策の方向」を10定めている。そして、この基本理念のもと、当該年度の教育行政運営の基本的な考え方及び基本目標ごとの主要施策を示したものが「教育行政方針」であり、教育行政方針を受けて、当該年度、特に重点的に取り組む教育施策の具体的な内容を示すものが「教育行政重点施策」である。このうち、生涯学習に関しては、8ページになるが、「基本目標2、生涯にわたる学びを充実し、地域文化を振興する」とし、その実現に向け、2つの施策の方向、6つの施策を展開している。その中で、本審議会においてご協議いただく範囲は次のとおりである。

2-1 生涯にわたる学びを進める

- ・ 2-1-1 生涯学習活動の充実と学習成果の活用
- ・ 2-1-2 社会教育における人権教育の推進

2-2 文化活動を充実し、郷土の歴史を継承する

- ・ 2-2-1 芸術文化活動の推進
- ・ 2-2-2 特色ある伝統文化の振興

9ページには、各施策に対応した主な取り組みを掲載している。

32、34（※上部のみ）、36、37ページには、各重点事業の具体的な内容を掲載している。

なお、教育行政重点施策は、令和6年度に特に重点的に取り組む内容を定めるものであり、全ての事業を掲載しているわけではないことを説明する。

以上を踏まえて、会議資料7ページに基づき説明する。令和6年度重点事業（案）として、9つの事業を掲げている。

本日協議いただいた後、教育委員会会議における協議を経て、第3回審議会において最終的な内容をご報告させていただき予定である。

○議長 委員に意見を求める。

○委員 学校教育について、「働き方改革の推進」という項目がある。今回の議論の範囲には入っていないが、指導課や学務課、教育現場よりも、生涯学習課の方が地元の指導者やリーダーとつながりが深いのではないか。特に部活動について、教師の負担を軽くし、子どもたちのために地元と一緒に進めていくというのが文科省や中教審で言われていることではないかと思う。生涯学習課でクラブ・サークル・団体ガイドやリーダーバンクを作っているのも、そこに登録されている方々も含め、様々な方から意見を聞き、学校の部活動をどうしていくのか話し合うことが、子どもたちの育成のために大事だと思う。地元で活躍している方はたくさんいるので、スポーツ、文化、歴史について様々なご意見をいただき、地元からこういった提案があるという

ことを学校側に伝えるなどできないか。そのようなアプローチがあってもよいのではないかと思う。

○事務局 越谷市教育行政重点施策の1-6-2に関わる部分であり、本審議会においてご審議いただく事項とは異なるが、いただいたご意見について回答する。

部活動の地域への移行については、まさに今現在、教育委員会の指導課を事務局として、庁内で今後どのように進めていくか議論をしている。地域の方や市内で活動されている様々な団体の方が今後どのように関わっていけるのかを議論しており、今後さらに協議検討会という形で地域の方々からもご意見をいただきながら、実際にどのように運営していくのか、文科省の計画に基づき進めている。地域の様々な活動をされている人材をどのように巻き込んでいくかは非常に大切だと考えている。具体的にどのような手法で取り組んでいくか、まだ決まっていないが、いただいた意見を念頭に、今後検討を進めていきたい。

○委員 中学校の部活において、郷土芸能や日本文化に関わるもの、例えばお茶などは、地域の団体に指導者として来ていただくという活動を越谷市では行っており、これらをお披露目する機会も設けている。今一番問題になっているのはスポーツ関係のクラブについて、どのように取り組んでいくかということである。今年取り組みとしては、越谷アルファーズとの連携事業が、学校現場の方で手始めとして進んでいる。さらに今後、地域のスポーツ団体の方々のご協力でどこまでやっていけるか、指導課から探っていくという話もしている。

学校の教育というのは、生涯学習と同じスタンスで、高校卒業時に社会参画できる人間を育てるということが今一番大きな目標になっており、小学校段階でも地域のことをもっとよく知ってもらおうというような取り組みも始まっている。昨年度、「越谷のすてき」という冊子を教育委員会で作成した。学校教育課程の中で、テーマの設定を各学校が決められる総合的な学習の時間をうまく活用し、より地域のことを知ることで、地域に関わる子どもたちを育てていこうというような取り組みも始めている。その冊子の作成には生涯学習課や広報シティプロモーション課にもご協力いただいております、デジタルアーカイブも今後学校で活用させていただこうという方向で協力連携も進めているところであり、これらも含めて学校教育と生涯学習がよりリンクした形で進めていければと考えている。

○委員 郷土芸能祭に関わるところで、神社に関係する自分から見ると、今非常に危機に瀕していると感じる。コロナ禍が明けてからお祭りが再開できないという危機がある。この場で協議する内容は、コミュニティセンターで行われる郷土芸能祭であるということは承知しているが、本来はそこが本番ではなく、地域で行っているお祭りが本番だと考えている。お祭りの機会が失われると、コミュニティセンターのた

めに郷土芸能祭を継承している形になってしまって、恐らくそれは誰も望んでいない形であると思うので、そこをお考えいただけないか。例えば、補助金を交付している郷土芸能保存協会の筆頭は神明はやし連中だったと思うが、神明はやし連中だけでも市内で6社の神社を回って神楽を奉納している。船渡の香取神社と大杉の香取神社はコロナ禍以降お祭りができておらず、そこへの神楽の奉納はなくなっている。このようにどんどん回数が減っていくと郷土芸能自体を残そうと努力されているのにその本番がない、ということになってしまうので、協議いただければと思う。

- 事務局 行政の方でお祭りの後押しのような形でできることがあれば検討していきたいと思っている。実際の運営は自治会の方が中心になっていただいているが、お祭り自体を行うことがコロナ禍の中で非常に難しいという状況があったかと思う。本来、お祭りで奉納することが郷土芸能なので、非常に危機があることはこちらも重々承知しているところであり、郷土芸能の活動を協会と一緒に進められればと思う。郷土芸能祭では、実際に獅子頭などを会場で見させていただくという新しい取り組みも行っている。コロナ禍前は、獅子頭を実際にどのようにかぶって舞っているのかをお見せできればということも考えていた。郷土芸能祭に来ていただいた方に、郷土芸能に興味を持っていただけるような取り組みを引き続き進めていきたい。ご指摘いただいた点を含め、市や教育委員会でどのような形でサポートできるのか検討を続けていく。
- 議長 今年度と来年度のものを比較すると、重点施策から科学技術体験センターの事業が減っているが、変更となったのか。また、これは感想だが、学校との連携のところで、すでに色々な取り組みで様々な方が関わりながら、部活やそれ以外のことも連携があるとお話をいただいた。特に小学校段階では、放課後子ども教室という仕組みもあり、越谷市の場合は青少年課が所管であるため、教育委員会外となっている。このような場合、教育行政とそれ以外の行政も一緒にやっていく必要があるのだろうと思う。
- 事務局 2-1-1の2113「科学技術体験センター事業の充実」は、大きなくくりとしては「生涯学習活動の充実と学習成果の活用」の中に含まれる。科学技術体験センターについては別の審議会があるため、こちらの生涯学習審議会の所管範囲からは除いている。
- 議長 教育行政重点施策の中には入っているが、生涯学習審議会の資料からは除かれているということで承知した。
- 委員 地域のイベントが停滞してしまい、伝統芸能を披露する場がないという話が出たが、自身は学生たちとボランティア活動をしており、今年の夏に大沢の八坂祭に携わった。大沢の自治会の方々が、コロナ禍が終わりイベントを行うとなった時に、運営側の高齢化が進んでイベント自体が立ち行かないという話を聞き、自身の団体が学生たちと一



緒に八坂祭の準備から運営に関わり、学生の力を集結しながら実行した。重点事業の中の生涯学習リーダー・ボランティアの人材育成というところで、地域のイベントを取りまとめできる人たちの育成事業という形で講座を開催すると、地域のイベントがより新しく、伝統を引き継ぎながら活性化していくのではないかと思った。

○議長 コロナと高齢化と両方危機があるという中で、どのようにボランティアなどの新しい人材を発掘し、繋いでいくかということも、他の事業との連携も含め考えられるとよいと思う。

○委員 サンシティの建て替えについて、現在どのようになっているのかお聞きしたい。

○事務局 第1回会議で、ホール棟の方は修繕をし、商業棟の方は建て替えをする予定と説明させていただいたが、市民の方々から請願書が出され、今後検討協議会等を立ち上げ、その中で議論をすることになった。现阶段で皆様にご提示できる内容としては、コミュニティセンターは、令和9年の3月まで使用できるということである。

○委員 正直、コミュニティセンターの方が重要ではないかと思う。越谷市には他に文化センターがない。春日部市や草加市にはあるが、やはり費用がかかっても越谷市にきちんとした文化センターを作っていただきたいという気持ちがある。もう1点、その協議会ではどのように考えているのか分からないが、コンクリートの耐久性は保って60年で、マンションや商業施設も普通は40年ほどで壊している。コミュニティセンターは既に50年経つ。商業施設は建て替えをし、コミュニティセンターは建て替えないという計画だが、今後また壊して作り替える方が時間と費用がかかるのではないかと思う。生涯学習審議会からそのような意見があるということをご希望したい。

○事務局 サンシティの整備事業の見直しに関する事務に関しては、南越谷にぎわい推進室主体で行っている。生涯学習課では、文化施設としての越谷コミュニティセンターを拠点に、市民の文化活動、芸術活動など成果を発表していただく場、それを鑑賞していただく場として、また様々な興行等の事業を通して、市民に幅広い芸術や文化に触れ親しんでいただく機会を作るということを事務として担っている。

先ほど担当が申し上げたように、現時点では、令和8年度まで現状の施設として使用することができ、コミュニティセンターホール棟の部分に関してはリノベーションをし、今イオンなどが入っている商業棟については建て替えをするという考え方が示されている。お示した考え方について改めて、あり方に関する方針を作成したり、またそれを議会の議決事項にするなどの手続きをしながら、今後再度検討を進めていくという段階にある。文化センターとしての機能が非常に重要であるというご意見を審議会の中でいただいたということは、事務を進めている所管課の方に伝えたい。

○委員 2点ある。1点目は、先ほどお祭りの話があったが、自分の地域は

4年間できなかつたので、その段取り等を担っていた人も4年歳をとってしまった。そのため、いざとなったら、腰が痛いなど様々な理由により中々スタートができなかつた。地元もそのような状況を見越して、2017年に青年会を立ち上げた。その時に気が付いたが、越谷市は老人会には補助金が出るが、青年会には一切出ない。老人には優しいのに、青年に対してはどうなのか。今はその青年会は資金難である。今年のお祭りは、地元の埼玉県立大生に手伝いをしてもらった。お祭り等は、初めて作った時はよいが、歳を重ねてできなくなってきた。自分が仕切りたいという気持ちが年配の方たちにはある。その結果若い人が入ってこないといった現状があり、それを早く対策しなければならない。越谷市としては青年会に補助金を出すつもりがあるのかお聞きしたい。

2点目は、今小中学生が授業でタブレットを使用するなど、最近越谷市が様々なデジタル化で情報発信しているが、情報を受け取れない人もいる。このデジタル格差を何とか解消するような生涯教育がないか。

○事務局 1点目について、生涯学習課は社会教育関係団体の補助金の事務を所管しており、青年会に対する補助金については確認する。そのような活動の先に地域の振興やコミュニティの醸成ということが考えられると思うので、実現できるかは約束できないが、ご意見として伺う。

※会議後に確認した結果、該当する補助金はなかつた

2点目について、公民館を会場とし、高齢者の方を対象としたパソコンやスマートフォンの活用の仕方を学ぶ機会を、民間事業者の力を借りて現在進めている。公民館事業においても、そのようなデジタル技術を市民の皆様にも満遍なく、誰一人取り残さずに、平等に活用できるようにする取り組みが求められている。公民館長に対しても、そのような取り組みについてこの審議会の場で意見をいただいたことがあるかと思う。どのような形で実践できるか、常に工夫をしながら、一つでも多くの事業に取り入れられるよう、今後も検討していきたい。

○委員 本日子育てフォーラムを開催し、コミュニティセンターの小ホールで300名以上の保護者の方に来ていただいた。4年ぶりの開催ということでノウハウも薄れていく中で、幼稚園協会の中でもしっかり引き継ぎができ、子どもたちや保護者にとってとてもよい2時間となった。閉会の時には感動して泣かれている方もいて、生涯学習という意味でも少しほっとする時間になったかと思う。お礼を申し上げる。

○議長 本日家庭教育事業の一環として報告があった部分を共有いただき、お礼を述べる。

## 5 その他

○司会 委員、事務局に連絡・報告等の事項を尋ねる。

○委員 こしがや市民大学の第1期講座が現在開講中である。明日（11月7日）は第3回目で、「埼玉県の民話を楽しもう～怖い話、不思議な話を中心に～」となっており、越谷市内の民話についても紹介をする。興味ある方は、当日参加も可能であるのでぜひお越しいただきたい。明日だけでなく、毎週火曜日に開催しており、11月14日、21日、28日と明日を含めて4回開催する。毎回違うテーマで講義をしているので、ご参加をお待ちしている。

○事務局 事務連絡について3点説明する。

1点目として、今後の研修会について説明する。令和6年1月23日（火）に予定されている東部地区社会教育関係委員・職員研修会は、案内を受け次第、郵送で通知する。

2点目として、第3回会議を来年3月に予定していることを説明する。日程等の詳細が決まり次第、郵送で通知する。

3点目として、本日配付の資料は、生涯学習の参考として情報提供させていただいたことを説明する。

## 6 閉会 北畠副会長